

第 2 回 あん摩マッサージ指圧甲子園 2025
実施報告書

令和 7 年 1 1 月

一般財団法人 ひとえだ 一枝のゆめ財団

目 次

1	大会の概要	1
2	大会結果（敬称略）と受賞者のコメント	3
	最優秀賞 森 一蔭さん(大宮呉竹医療専門学校)	4
	優 秀 賞 鈴木佳名子さん(大阪府立大阪南視覚支援学)	4
	優 秀 賞 松林 隼人さん(国際鍼灸専門学校)	4
3	参加選手一覧	5
4	審査員一覧	6
5	運営面の反省及び課題	7
	財務委員会	7
	広報委員会	7
	審査委員会	7
	誘導担当	8
	受付担当	8
	会場担当	8

【 関 連 資 料 】

1	開催要項
2	大会ポスター（チラシ）
3	開会式、表彰式・閉会式次第
4	競技要項（ホームページ掲載用）
5	審査要領・評価表
6	触察課題部位の公表
7	スタッフ心構え
8	タイムスケジュール
9	会場配置・会場図
10	パンフレット
11	選手・引率者アンケート結果
12	協賛企業・団体協賛金一覧
13	大会役員・実行委員等一覧
14	収支決算書

1 大会の概要

「第2回あん摩マッサージ指圧甲子園 2025」が令和7年8月24日（日）、大宮呉竹医療専門学校で開かれ、会場は160人を超える関係者、報道関係者らで賑いました。大会を成功裏に終えることができたのも、厚生労働省をはじめご後援を賜りました教育・業団体の皆さま方、惜しみないご協力をいただいた会場校の教職員、学生ならびに審査員の方々、そして、火の車の台所を支えて下さった多くの協賛企業・団体の皆さま方のおかげです。この場をお借りし心よりお礼申し上げます。以下、巻頭にあたり、若干の感想を交えながら大会の概要を記させていただきます。

この大会は、2018年に「全国あん摩マッサージ指圧コンテスト」として有資格者を対象にスタートしました。昨年からは「甲子園」と銘打って学生部門を新たに設けましたが、今年は運営上の事情から学生部門のみに絞って実施することになりました。

大会の目的は、①あん摩マッサージ指圧師を目指す学生の間に技能を磨き合う気運を高めること、②あん摩マッサージ指圧師養成学校の実技教育向上の一助になること、③あん摩マッサージ指圧業の免許制度を広く国民に伝えることの三つです。この目的を遂げるためにも、「あん摩マッサージ指圧甲子園」が、業界の未来を担う学生たちの「聖地」として、また、「あはき教育のインクルーシブ」を体現する実践モデルとして、斯界の耳目を集める大会に成長することを願ってやみません。

さて、「甲子園」と銘打ったものの、学生だけの開催としたこともあって、はたして名前に負けないほどの広がりを得られるか甚だ不安でしたが、フタを開けてみると北海道から沖縄までの全国20校から定員いっぱいの30名（視覚障害者18名、晴眼者12名）の腕自慢が集って下さいました。参加の動機を何人かにインタビューしてみると、「昨年のリベンジ」、「先生に勧められて」、「先生以外の評価を受けてみたかった」など様々でしたが、盲学校からの参加者には「他の人と交流したり切磋琢磨したりしたかった」、「自分の実力を他の人と比べてみたかった」など、生徒数の減少を背景にした動機を語る選手が多かったように思います。いずれにせよ、選手各位のチャレンジ精神と行動力に心からの敬意を表します。

開会式では、一枝のゆめ財団矢野忠理事長の挨拶の後、昨年最優秀賞に輝いた飯間彩香さんの母校、四国医療専門学校から優勝杯が返還されました。その後、後援を頂いた厚生労働省医政局医事課の柳田聡専門官をはじめ、東洋療法研修試験財団の奈良信雄理事長、東洋療法学校協会の坂本歩理事、全国盲学校長会の安田咲登子会長から祝辞を頂戴し、舞



大宮呉竹医療専門学校

台は競技へと移りました。

誰も見学できるオープンスペースに設えられた2つの競技会場には8台ずつのベッドが置かれ、臨床経験豊かな審査員が施術評価者と客観評価者に分かれてスタンバイする中、午前10時30分、競技の火ぶたが切られました。選手は3人の施術評価者を回り15分ずつの施術を行います。得点は施術評価者・客観評価者それぞれの審査員が独立して付けた点数を総合した150点満点で算出されます。

審査員は、治療院や病院などの臨床現場で長く経験を積んでこられた先生方を中心に25人で組織しました。技術を点数で評価するのは難しい作業ですが、審査員間のバラツキをできるだけ小さくするための工夫として、施術評価者を前回までの2人から3人に増やしたほか、審査員には審査基準や触察部位などに関する共通理解を図るための事前研修を受けてもらいました。

審査修了後には審査員から各選手に対してフィードバックの時間も設けられ、その際には優れている技術やさらなるレベルアップに向けた改善点について、言葉だけでなく実技を交えながら伝授される場面も見られました。また、選手によってはこの機会を逃すまいと、審査員に突っ込んで質問したり、再びベッドに横たわってもらい改善点確認のために実際に施術する様子も見られました。熱戦は昼食を挟み午後2時30分まで行われました。

競技を終えた選手たちは、結果が出るまでの2時間ほどの間、別室で他の選手等との技術交流を行ったり、出展希望があった協賛企業や団体様のブースを回り様々な情報を得たりして過ごしました。特に技術交流を行うベッド周辺は熱気と談笑に包まれ、絶え間なく選手や関係者が訪れ幾重

にも人の輪が出来ていました。皆、自校で習った揉み方を紹介し合ったり、自慢の技を披露したり、また技術論を熱心に語り合ったりと障害の有無は意に介していない様子で、「あん摩の技術」という一点にフォーカスして交流を深めていました。

技術を学ぶ学生にとって「もっとレベルアップしたい！」という思いは共通であり、ましてや本大会に参加しようという意識の高い学生はなおさらでしょう。この技術交流では、本大会の目的の一つである「あはき教育におけるインクルーシブ」の実践劇を目の当たりにした思いで、未来に光を見るような感慨を覚えたしだいです。



競技風景



選手や関係者で賑わう技術交流会場

審査結果の詳細は後述しますが、最優秀賞には森一落さんが、優秀賞には鈴木佳名子さんと松林隼人さんがそれぞれ輝きました。また、今大会は4位から6位までの選手にもフレアス賞が贈られました。次の優勝杯はどなたの胸に輝くのでしょうか。今から来年の大会（令和8年8月23日）が楽しみです。



表彰式後の記念撮影

葛飾北斎の手ぬぐいの図柄を挿入

2 大会結果（敬称略）と受賞者のコメント

最 優 秀 賞	森 一落	大宮呉竹医療専門学校
優 秀 賞	鈴木佳名子	大阪府立大阪南視覚支援学校
	松林 隼人	国際鍼灸専門学校
フ レ ア ス 賞	小川 結花	岩手県立盛岡視覚支援学校
	吉田 藍美	四国医療専門学校
	井口 光世	栃木県立盲学校

《最優秀賞・優秀賞受賞者のコメント》

●最優秀賞 森一蒔さん

最優秀賞は想像もしていなくてとても嬉しいです。ありがとうございました。この大会を通して全国で多くの方々が技術の向上に向けて努力していることが分かり、その気持ちを共有できたこと、また、お互いに切磋琢磨して競い合うことが出来たことをとても有意義に感じることができました。さらに競技を通して触診の仕方や患者さんとの接し方も学ぶこともでき、自分にとってためになることが沢山あったとも感じています。本日は本当にありがとうございました。



森一蒔さん(左)と矢野忠大会長

●優秀賞 鈴木佳名子さん

今日は、選手の皆さんがこの大会に参加されている勇気がすごいなと尊敬して見ていました。自分は大会参加に怖気づいてなかなか踏み切ることが出来なかったんですが、クラスの仲間や担任の先生が「一緒に行こうよ」と誘ってくれて出場を決めました。出るからにはと思って、それからは先生方や仲間に協力してもらって沢山練習しました。結果はそれほど求めていなかったですが、このような賞をいただいて、まだ実感がわいてこないんですが、きっと後で嬉しさがこみあげてくると思います。一緒に頑張ってくれた多くの方々にお礼を言いたいと思います。本日は本当にありがとうございました。



鈴木佳名子さん(左)と矢野忠大会長(右)

●優秀賞 松林隼人さん

このような賞をいただくことが出来てとても嬉しいです。技術交流会で、普段交わることのない他の学校の方と交流できたことはとてもためになったと感謝しています。今年2年なので来年はもう一度この大会に出ることが出来ます。来年こそは最優秀賞を目指してさらに練習に励みたいと思います。本日は本当にありがとうございました。



松林隼人さん(左)と矢野忠大会長(右)

3 参加選手一覧

No	氏 名	ふりがな	学校名
1	末久みのり	すえひさみのり	香川県立視覚支援学校
2	栗原 大青	くりはら たいせい	東海医療学園専門学校
3	石川奈美子	いしかわ なみこ	東海医療学園専門学校
4	井口 光世	いぐち みつよ	栃木県立盲学校
5	松林 隼人	まつばやし はやと	国際鍼灸専門学校
6	長江 遼	ながえ りょう	国際鍼灸専門学校
7	大久保賢二	おおくぼ けんじ	筑波技術大学
8	飛田真太郎	とびた しんたろう	筑波技術大学
9	濱田 光	はまだ みつる	沖縄県立沖縄盲学校
10	小野寺菜月	おのでら なつき	宮城県立視覚支援学校
11	西嶋 輝	にしじま あきら	日本指圧専門学校
12	渡邊 卓也	わたなべ たつや	横浜市立盲特別支援学校
13	小川 結花	おがわ ゆか	岩手県立盛岡視覚支援学校
14	小林 倫大	こばやし ともひろ	福井県立盲学校
15	古茂田誠司	こもた せいじ	国立障害者リハビリテーションセンター
16	石黒 祐樹	いしぐろ ゆうき	国立障害者リハビリテーションセンター
17	林 良憲	はやし よしのり	静岡県立浜松視覚特別支援学校沼津分室
18	柴崎美優樹	しばざき みゆじゅ	筑波大学附属視覚特別支援学校
19	池田 恵美	いけだ えみ	東京呉竹医療専門学校
20	徳正 貴子	とくしょう たかこ	東京呉竹医療専門学校
21	石井千月呼	いしい ちづこ	大阪府立大阪南視覚支援学校
22	鈴木佳名子	すずき かなこ	大阪府立大阪南視覚支援学校
23	三浦 暁治	みうら きょうじ	国立障害者自立支援局函館視力障害センター
24	吉田 藍美	よしだ あいみ	四国医療専門学校
25	鎌倉 采花	かまくら いろは	四国医療専門学校
26	森山 光太	もりやま こうた	広島県立広島中央特別支援学校
27	三藤 ゆり	みふじ ゆり	大宮呉竹医療専門学校
28	森 一蒔	もり いちろ	大宮呉竹医療専門学校
29	鈴木 優太	すずき ゆうた	大宮呉竹医療専門学校
30	川本 陽菜	かわもと ひな	筑波技術大学

4 審査員一覧

		氏 名	所 属
施 術 評 価 者	1	青柳 利之	全国病院理学療法協会
	2	秋山 喜和	埼玉県鍼灸マッサージ師会
	3	井口 和美	有限会社陽光
	4	岩崎 敏明	群馬県鍼灸マッサージ師会
	5	岩本賀奈夫	埼玉県鍼灸マッサージ師会
	6	植木 均也	栃木県鍼灸マッサージ師会
	7	内田 朝美	株式会社フレアス
	8	大矢裕美子	マッサージ院 Lupinus
	9	刑部 陽子	埼玉県鍼灸マッサージ師会
	10	木田 裕己	東京都はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧師会
	11	小久保貴一	埼玉県鍼灸マッサージ師会
	12	齋藤恭二郎	静岡県鍼灸マッサージ師会
	13	田山 悦男	埼玉県立特別支援学校塙保己一学園
	14	戸田 賢	日本医学柔整鍼灸専門学校 非常勤講師
	15	平野五十男	全国病院理学療法協会
	16	増田 淳	ますだ鍼灸院
	17	山岸 克也	埼玉県鍼灸マッサージ師会
客 観 評 価 者	1	上利 文子	東京呉竹医療専門学校
	2	川瀬 明子	花田学園日本鍼灸理療専門学校
	3	小沼 智嗣	株式会社フレアス
	4	杉山 誠一	東海医療学園専門学校
	5	行木由紀子	横浜呉竹医療専門学校
	6	福島 正也	筑波技術大学
	7	望月 信宏	国際鍼灸専門学校
	8	渡邊 幸子	株式会社フレアス

5 運営面の反省及び課題

(1) 財務委員会

財務委員会は大会の予算・執行に係る作業を一元的に集約する委員会として会議を3回開催するとともに、一枝のゆめ財団の理事会と連携しつつ、大会開催要項、実施要項、予算案及び決算案等の作成、後援・協賛団体の依頼、宿泊費補助基準（下記）の作成等の業務を実施した。協賛団体及び協賛金の一覧は「資料編」を参照していただきたい。一方、前回大会まで契約できていた損保ジャパンのレクリエーション保険に「対象外のイベント」との理由で加入することができず課題を残した。

○宿泊費補助基準

最寄駅から大宮駅までの路線距離がおおむね100 kmを超え、かつ、前泊しなければ大会の参加に支障をきたすおそれのある理由で宿泊を希望する選手に対し、宿泊費として8,000円を限度に補助する。また、視覚に障害のある選手のうち、単独で移動することが困難な学生を引率する者に対しても1名に限り同額を補助する。

(2) 広報委員会

広報委員会は、大会の認知度向上と参加促進を目的として活動を行った。プレスリリースを2回作成・配布し、併せて大手メディア各社及び地域の新聞社やテレビ局等に対して啓発を行った。その結果、NHK ラジオ、点字毎日、鍼灸柔整新聞から取材を受け、NHK ラジオ第2放送では9月14日(日)に「視覚障害ナビ・ラジオ」において30分枠で放送された。また、点字毎日には9月11日付け第1381号に、鍼灸柔整新聞には9月20日付け第1236号にそれぞれ大会の様子が掲載されさた。また、チラシやポスターを関係団体や協賛企業を通じて配布し大会の周知に努めた。さらに、大会当日配布用としてパンフレットを作成し、来場者に趣旨や競技内容を分かりやすく伝える工夫を行った。一方で、SNSなどによるオンライン広報活動は体制整備に困難な状況があり、実施することが出来なかった。今後はデジタル媒体の活用に課題があると考えるが、今回の活動により大会の認知度向上に一定の成果を収め、次回への基盤を築くことができたと考えている。

(3) 審査委員会

今回は参加選手数を30名とし、審査員を施術評価者16名、客観評価者8名の計24名で構成した。審査回数については、従来の2回から3回へと変更した。また、触察課題については事前に出題候補として筋4部位・骨3部位を公表し、その中から当日審査開始時に実際の出題部位を発表する方式を採用した。審査項目については前回から変更を加えず継続した。大会に先立ち、7月24日(土)には審査員説明会を開催し、審査項目や触察部位の確認、審査の流れを実際にシミュレーションする場を設けた。その結果、大会当日は大きな混乱もなく、計画通りに審査を進めることができた。これは審査員各位の協力の賜物であり、ここに深く感謝申し上げる。

今後の改善点としては、審査項目の見直しや審査員の負担軽減を検討し、審査内容をより学生の学習意欲や技術の向上につながるものへと発展させていく必要があると感じてい

る。大会を重ねることで、さらに充実した内容へと成長していくことが期待される。

（４）誘導担当

最寄りの駅から会場までの案内および会場内の案内を中心に行った。本大会には視覚障害者も多く参加されるため、埼玉県立特別支援学校塙保己一学園協力のもと、8月6日（水）にガイドヘルプの講習会を実施した。大会当日の誘導係は同講習参加者のみで構成したため、視覚障害のある方にとってより安心感のある誘導が出来たと自負している。また、今回は前回の反省を踏まえ、猛暑の中の誘導係に過度の負担になることがないように3人1組のチーム制を採用し休憩を適宜とれるように工夫した。その結果、健康を害する担当者が発生することはなく、状況報告や各種連絡等もスムーズに行うことが出来た。全体として大きな混乱もなくスムーズに選手、関係者の誘導を行うことが出来たと考えている。

また、誘導中は担当者から選手等に対し積極的に話しかけることを推奨し、結果、晴眼者と視覚障害者の交流を図ることができたと感じている。

一方で誘導係が案内に迷う場面も散見されたため、次年度に向けてはより選手が安心して大会に臨めるように事前の打ち合わせをさらに綿密に行い、万全の態勢で大会を迎えたいと考えている。

（５）受付担当

今大会は、学生の部のみの実施だったため、選手、関係者全体の受付人数が少なく、併せて、審査委員の受付を審査委員会が担ったこともあり、受付ブースを減らすことができ、混乱なく実施することができたと考えている。また、昨年の反省を生かし、会場校のご協力のもと、前日に受付用テーブルを設置し、受付名簿や配布物品の確認及びセッティングができたことも、当日朝の準備を最小限に抑え、余裕をもって受付業務に臨むことができた要因であった。

次回大会に向けての課題としては、受付も含めた大会全体として協賛企業や団体の方が視察に訪問された際の対応が挙げられる。今回はそうした方々が受付を終えたあとは自由に視察となっていたため、受付の際の声掛けや大会を通じての案内等がほとんどなされていなかった。そのため会場内の教室配置や各教室に入って見学が可能か等について視察に訪れた方々が戸惑う様子が見られた。こうした状況を踏まえ次回大会に向けては実行委員会では対応策を検討する必要があると考えている。

（６）会場担当

会場配置決定後から準備を進め8月上旬には概ね済ませていたため、前日の準備にあまり時間をかけることなく当日を迎えられたことは大変よかった。当日は、式典会場内を中心に準備及び片付け等を行ったが、マニュアルに従って早めに担当者間で作業内容を調整したり、閉会式前には念のため事前打ち合わせを設定したりしたため、全体的に円滑かつ

問題なく動くことができた。

反省点としては、以下の2点が挙げられる。

①技術交流会場と協賛企業・団体の出展会場を同一のスペースで行ったため、手狭になってしまったこと。

②選手から「更衣室の中が暑い」という意見が出された。

来年度は出場選手数を増やすことも想定されるため、こうした反省を踏まえながら新たに準備を進めていく必要がある。

【 関 連 資 料 】

第2回あん摩マッサージ指圧甲子園 2025
開催要項（第2報）

I. 大会の概要

1. 目 的
あん摩マッサージ指圧師を目指す学生の間に施術者としての技能と態度を磨き合う気運を高めるとともに、当該手技に係る実技教育の一層の向上と国民一般の理解の啓発に寄与することを目的とする。
2. 主 催（共同開催）
一般財団法人 一枝のゆめ財団
社会福祉法人 日本視覚障害者団体連合
3. 後 援
厚生労働省／公益財団法人東洋療法研修試験財団／公益社団法人東洋療法学校協会／全国盲学校長会／日本理療科教員連盟／公益社団法人全日本鍼灸マッサージ師会／公益社団法人全国病院理学療法協会／公益社団法人日本あん摩マッサージ指圧師会／一般社団法人日本東洋医学系物理療法学会／株式会社毎日新聞社点字毎日
4. 協 賛
○特別協賛
株式会社フレアス セイリン株式会社
○協賛企業・団体
株式会社セリアジョブ／株式会社 i-care（アイケア）／株式会社あおば H.D／株式会社アミ／株式会社 HS コーポレーション／株式会社 F.C.C／株式会社 MSG／株式会社 OHIZUMI／株式会社介護 NEXT／株式会社くまのみ／株式会社クラシオン（ケイズグループ）／株式会社 KKD／株式会社爽健グローバル／株式会社メディカルアーツ／公益財団法人東洋療法研修試験財団／公益社団法人東洋療法学校協会／日本理療科教員連盟／公益社団法人全日本鍼灸マッサージ師会／公益社団法人全国病院理学療法協会／一般社団法人全日本鍼灸マッサージ協会／公益社団法人埼玉県鍼灸マッサージ師会／一般社団法人栃木県鍼灸マッサージ師会
5. 期 日 2025 年 8 月 24 日（日）
6. 会 場 大宮呉竹医療専門学校
〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町 1-185-1
7. 募集人数 30 名（学校ごとの応募数は 2 名以内とする）
※ 先着順を原則とするが応募者が多数の場合、40 名を限度に受け付けることとする。
8. 応募資格
あん摩マッサージ指圧師免許を 2026 年 4 月以降に取得見込みの者で、大会応募時点の学年が、盲学校、専門学校にあっては第 2 学年以上の者、大学にあっては第 3 学年以上の者とする。
9. 募集期間 2025 年 4 月 1 日（火）～6 月 30 日（月）
10. 応募方法
一枝のゆめ財団のホームページに開設している「第 2 回あん摩マッサージ指圧甲子園お申し込みフォーム」に必要事項を記入する方法で応募する。
11. 参 加 費 5,000 円

12. 宿泊費の補助

最寄駅から大宮駅までの路線距離がおおむね 100 kmを超え、かつ、前泊しなければ大会の参加に支障をきたすおそれのある理由で宿泊を希望する選手に対し、宿泊費として 8,000 円を限度に補助する。また、視覚に障害のある選手のうち、単独で移動することが困難な学生を引率する者に対しても 1 名に限り同額を補助する。

13. 審査内容

あん摩、マッサージまたは指圧の施術について、基礎的技術を中心に評価するとともに、接遇等のホスピタリティを併せて審査する。

14. 審査基準と競技要項

別に定める「審査要領」による。競技要項は一枝のゆめ財団のホームページで公開する。

15. 表 彰

公正かつ厳正な審査により一定の基準を満たしたと認められた者に対し、最優秀賞 1 名、優秀賞 2 名を表彰する。

16. 傷害補償

大会開催中に傷害等が発生した場合の傷害補償は別に定める保険によるものとする。

17. 大会の中止

天災等により、競技を安全かつ円滑に実施することが困難と判断される不測の事態が発生した場合は大会を中止する。

II. 当日のスケジュール(予定)

9：00	選手受付開始
9：45 — 10：30	開会式・協議説明
10：45 — 12：15	競技（午前の部）
13：00 — 14：30	競技（午後の部）
14：30 — 16：00	実技交流会
16：15 — 17：00	表彰式・閉会式

III. 大会役員

役 職 名		氏 名	所 属	
大 会 長		矢野 忠	一枝のゆめ財団理事長	明治国際医療大学名誉学長
副大会長		竹下義樹	一枝のゆめ財団理事	日本視覚障害者団体連合会長
副大会長		齊藤秀樹	学校法人呉竹学園理事	大宮呉竹医療専門学校校長
実行委員長		坂本 一	一枝のゆめ財団理事	有限会社陽光代表取締役社長
相談役		坂井友実	一枝のゆめ財団理事	東京有明医療大学教授
相談役		藤井亮輔	一枝のゆめ財団理事	筑波技術大学名誉教授

《問い合わせ先》

第 2 回あん摩マッサージ指圧甲子園 2025 事務局

所 在 地 東京都北区赤羽 1-45-5 クロスポイント赤羽 1 階
一般財団法人 一枝のゆめ財団内

TEL/FAX 03-6310-5172

E m a i l hitoedanoyumeinfo@jcom.zaq.ne.jp

あん摩 マッサージ指圧 甲子園2025

大宮で激突

第2回 あん摩マッサージ指圧甲子園

あん摩マッサージ指圧師養成学校の
学生あん摩チャンピオンシップ

開催日 2025/8/24(日)

会場 学校法人呉竹学園
大宮呉竹医療専門学校

アクセス JR大宮駅西口から徒歩5分



第1回あん摩マッサージ指圧甲子園(2024.8.25)



第1回大会 優勝者 四国医療専門学校



主催(共同開催)

一般財団法人 一枝のゆめ財団、社会福祉法人 日本視覚障害者団体連合

お問い合わせ先

一枝のゆめ財団内 あん摩マッサージ指圧甲子園事務局

電話・FAX 03-6310-5172 Mail:hitoedanoyumeinfo@jcom.zaq.ne.jp

後援団体

- 厚生労働省
- (公財)東洋療法研修試験財団
- (公財)全日本鍼灸マッサージ師会
- (公社)日本あん摩マッサージ指圧師会
- (公社)全国病院理学療法協会
- (公社)東洋療法学校協会
- (一社)日本東洋医学系物理療法学会
- 全国盲学校長会
- 日本理療科教員連盟
- 毎日新聞社 点字毎日

特別協賛

- 株式会社フレアス
- セイリン株式会社

協賛企業・団体

- 株式会社i-care(アイケア)
- 株式会社あおばHD
- 株式会社アミ
- 株式会社HSコーポレーション
- 株式会社F.C.C.
- 株式会社MSG
- 株式会社OHIZUMI
- 株式会社介護NEXT
- 株式会社くまのみ
- 株式会社クラシオン(ケイズグループ)
- 株式会社KKD
- 株式会社セリアジョブ
- 株式会社爽健グローバル
- 株式会社mitsuki
- 株式会社メディカルアーツ
- 株式会社B&Sコーポレーション
- (公財)東洋療法研修試験財団
- (公財)全日本鍼灸マッサージ師会
- (公社)全国病院理学療法協会
- (公社)東洋療法学校協会
- (一社)日本東洋医学系物理療法学会
- 日本理療科教員連盟
- (一社)全国鍼灸マッサージ協会
- (公社)埼玉県鍼灸マッサージ師会
- (一社)栃木県鍼灸マッサージ師会
- (一社)長野県はり灸マッサージ師会

開会式、表彰式・閉会式次第

【開会式】

- 来賓登壇者(9名)
柳田聡様、奈良信雄様、坂本歩様、安田咲登子様、長嶺芳文様、澤登拓様、稲葉巧様、前田智洋様、近藤宏様
- 役員関係登壇者(5名)
矢野忠、竹下義樹 齋藤秀樹 坂本一 逢坂忠
- 1. 開会の辞 坂本 一(大会実行委員長)
- 2. 大会長挨拶 矢野 忠(一枝のゆめ財団理事長)
- 3. 優勝杯返還 吉田藍美(四国医療専門学校)
- 4. 選手紹介 (総合司会 藤井絢子)
- 5. 登壇者紹介 (総合司会 藤井絢子)
- 6. 来賓挨拶(4名)
・厚生労働省医政局医事課長代理・柳田聡様(厚生労働省医政局医事専門官)
・公益財団法人東洋療法研修試験財団理事長・奈良信雄様
・公益社団法人東洋療法学校協会理事長代理・坂本歩様
・全国盲学校長会会長・安田咲登子様
- 7. 祝電披露
- 8. 閉会の辞 逢坂 忠(大会副実行委員長)
《競技説明》……………審査委員会審査員長 太田一郎

【表彰式・閉会式】

- 登壇者(7名)
矢野忠、竹下義樹 齋藤秀樹 太田一郎 澤登拓 坂本一 藤井亮輔
- 1. 開会の辞 (総合司会 藤井絢子)
- 2. 講 評 太田一郎(大会審査委員長)
- 3. 成績発表・表彰 坂本 一(大会実行委員長)
○フレアス賞(4位~6位) 澤登 拓(株式会社フレアス代表取締役社長)
○優秀賞(2名) 矢野 忠(大会長・一枝のゆめ財団理事長)
○最優秀賞 矢野 忠(大会長・一枝のゆめ財団理事長)
○日本視覚障害者団体連合会長賞(最優秀省受賞者)
竹下義樹(大会副会長・日本視覚障害者団体連合会長)
- 4. 入賞者インタビュー (総合司会 藤井絢子)
- 5. 次回の開催予告 藤井亮輔(一枝のゆめ財団専務理事)
- 6. 閉会の辞 齋藤秀樹(大会副会長、大宮呉竹医療専門学校校長)

競 技 要 項

- 1 競技内容
- ・背腰部への施術

・施術前に指定された筋、骨の触察（2分）

・施術時間は触察を含めて15分

・衣服の上から手ぬぐいを使用して施術

・3箇所ベッドでの施術。他に1名の審査委員が評価

・点数は3箇所の合計点（150点満点）

・施術中のコミュニケーションも審査対象
- 2 審査項目（50点満点）
- 姿勢

重心移動

時間配分

筋の触察

施術中のコミュニケーション

迷い手の有無

施術経路

適切な力加減

軽擦法・揉捏法・圧迫・叩打法等

【審査要領】

有資格者による技術審査150点満点とする。

- (1) 腹臥位による背腰部への施術を行う。

(2) 施術に入る前に、試験官の〇〇筋(1カ所目審査)、〇〇筋(2カ所目審査)、骨(3カ所目審査)を触察する。

(3) 課題遂行時間は15分とする。

(4) 施術は衣服の上から手ぬぐいを使用して行う。

(5) 施術は3カ所のベッドで別の審査委員に対して1回ずつ行う。被術者以外にももう1名審査委員を配置し、施術中の説明や姿勢などの評価を行う。
- (6) 点数は3箇所の審査の合計点とする。

(7) 施術中のコミュニケーションについても審査する。挨拶や施術中の会話などは、日頃患者さんと接するように行ってもらう。

【評価表】被術者用

評価項目(42点満点)

選手No.			
評価者			
④〇〇筋・骨の触察 4点			
スムーズに筋・骨を見つけられたか	2	1	0
的確に触察できたか	2	1	0
⑤施術中のコミュニケーション 2点			
施術中に必要なコミュニケーションがとれているか	2	1	0
⑥迷い手がなく、一つ一つの手技が途切れず行えている 4点			
迷い手	2	1	0
手技の途切れ	2	1	0
⑦施術経路 4点			
施術の始点・終点が適切か	2	1	0
筋を的確に捉えているか	2	1	0
⑧適切な力度 4点			
患者への確認	2	1	0
適切な調節	2	1	0
⑨軽擦法 8点			
密着度	2	1	0
圧	2	1	0
スピード	2	1	0
施術範囲全体か	2	1	0
⑩揉捏法 10点			
動きのスムーズさ	2	1	0
リズム	2	1	0
圧	2	1	0
手指の安定性	2	1	0
スピード	2	1	0
→裏面に続く			
⑪圧迫 4点			
漸増漸減	2	1	0
手指の安定性	2	1	0
⑫叩打法 2点			
心地よいあたり		1	0
リズム		1	0
小計			
合計/42点	/42点		

【評価表】観察者用

評価項目(8点満点)

選手No.			
評価者			
①姿勢 3点			
下半身の形(適度な開き・位置等)		1	0
背部が真っ直ぐ		1	0
頸の角度(過度な前後屈)がない		1	0
②重心移動 3点			
全身を使っての移動		1	0
ベッドの高さに合わせた重心移動		1	0
上肢の使い方(曲がりすぎていないか、身体との位置関係がほぼ一直線上か)		1	0
③時間配分 2点			
背腰部をバランス良く施術できているか	2	1	0
小計			
合計/8点	/8点		

参加選手各位

和 25 年7月 10 日

触察課題部位の公表について

第 2 回 あん摩甲子園実行委員会

このたび、第 2 回あん摩マッサージ指圧甲子園 2025 における触察課題部位を以下のとおり公表いたします。練習・準備の際の参考としてください。

【筋肉】

以下の筋肉について、筋線維に対して垂直に動かして確認することを原則とします。

- ・ 腰方形筋(L2 高位・志室穴付近)
- ・ 棘下筋(筋膨隆部・天宗穴付近)
- ・ 肩甲挙筋(天髎穴停止部付近)
- ・ 中殿筋(筋膨隆部)

【骨】

以下の骨指標を正確に触察してください。

- ・ 肩甲骨下角
- ・ 上後腸骨棘
- ・ 第 12 肋骨先端

当日の触察課題は、上記の中から選定されます。解剖学的理解を深めたうえで、的確な触察技術を発揮できるよう練習に励んでください。

スタッフ心構え

- ・ 大会参加者の喜びを第一に考えて行動しましょう（サーバントの心）
- ・ 「大会参加者一人一人が VIP」と考えて接しましょう（ホストの心）
- ・ 常に見られていることを意識して行動をしましょう（キャストの心）

タイムスケジュール

時 刻	スケジュール	会 場	備 考
8：00	スタッフ集合	10 階式典会場 (1003・1004 教室)	
8：30	審査員受付開始	審査員控室 (802 教室)	
9：00	受付開始	1 階 エントランスホール	
9：45 — 10：15	開会式	10 階 式典会場 (1003・1004 教室)	
10：15 — 10：30	競技説明		
10：45 — 12：15	午前の部の審査	審査会場 1 (9 階 903・904 教室) 審査会場 2 (10 階 1001・1002 教室)	
12：15 — 13：00	昼食・休憩	選手控室 (902 教室)	
13：00 — 14：30	午後の部の審査	審査会場 1 (9 階 903・904 教室) 審査会場 2 (10 階 1001・1002 教室)	
14：00 — 16：00	技術交流 採点	技術交流会場 (10 階 1005 教室)	
16：15 — 17：00	表彰式・閉会式	10 階 式典会場 (1003・1004 教室)	
17：00 — 18：00	撤収		
17：30 — 19：30	懇親会		

会場配置及び会場図

		階・教室	備 考
会 場	男子更衣室	9 階 トイレの奥	エレベーターを背にして左手にあります。
	女子更衣室	10 階 トイレの奥	エレベーターを背にして左手にあります。
	選手用クローク	9 階 905 教室	
	審査会場 1	9 階 903・904 教室	
	審査会場 2	10 階 1001・1002 教室	
控 室	選手控室	9 階 902 教室	
	一般来場者控室	8 階 803 教室	選手、審査員以外の来場者控室
	審査員 控室	8 階 802 教室	
	大会本部・スタッフ控室	8 階 804 教室	
	協賛後援・報道関係控室	8 階 801 教室	
	技術交流・出展会場	10 階 1005 教室	
	式典会場	10 階 1003・1004 教室	

10階	式典会場・競技会場・技術交流出展会場	備考・備品一覧
10 階		
平面図 19,500 12,000 7,500 8,000 8,000 8,000 8,000 8,000 40,000 審査会場② (1001・1002教室) 式典会場 (1003・1004教室) 技術交流・ 出展会場 (1005教室) トイレ 男子 女子 女子更衣室 男子更衣室 バルコニー UP DN N		

8階	協賛報道関係控室・審査員控室・一般来場者控室・大会本部(スタッフ控室)	備考・備品一覧
⑧階		
		

9階	選手控室・競技会場・クローク	備考・備品一覧
⑨階		
		

Anma Massage Shiatsu

第 2 回

あん摩マッサージ指圧 甲子園 2025

Massage Students Championship

2025.8.24

会 場

大宮呉竹医療専門学校
埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-185-1

主 催

一般財団法人 一枝のゆめ財団
社会福祉法人 日本視覚障害者団体連合

開催を記念して



一般社団法人
一枝のゆめ財団

理事長
矢野 忠

あん摩マッサージ指圧の手技療法人は、近年、高く再評価され、広がりを
見せています。その要因は、人口構造や社会構造の変容により、ストレス
病やうつ病などの心の病が増えてきたことです。このことは何を意味する
かと言えば、組織・器官の疾患から人そのものが病む疾患が増えてきたと
いうことです。このような病態には、何よりも全人的医療が必要であり、
さらに大切なことは予防であり、未病治です。

それには身心への包括的アプローチを行うあま指療法が最適です。非薬物
療法である本療法は自然治癒力を治効原理とする体に優しい療法で、身心
全体をよい状態に誘導します。この素晴らしい療法の本領を発揮させるには
卓越したあん摩マッサージ指圧施術の技能と施術者の対応が求められます。
その素晴らしいあま指療法を学ぶ生徒・学生の志に敬意を表するとともに
、一層の研鑽を鼓舞する企画として、第2回目のあん摩マッサージ指圧
甲子園を開催することにしました。第1回のあん摩甲子園に参加した生徒・
学生たちの自然発生的な手技の交流の光景は、主催者はじめ関係者に
大きな感動を与えました。あま指療法に対する熱意と誇りをもって切磋
琢磨する生徒・学生達の姿に日本の伝統的手技療法を担う若者に確かな
未来を見ることができ、そのことが第2回あん摩マッサージ指圧甲子園の
開催を決意させたのです。

本大会の開催に当たり、多くの関係団体、関連企業のご協力とご支援を
賜り、厚く御礼を申し上げます。また昨年に引き続き会場の提供と運営に
ご協力を賜りました呉竹学園理事長の坂本先生、大宮呉竹医療専門学校
校長の齊藤先生はじめ教職員の皆様方に心よりお礼と感謝を申し上げ
ます。そして大会の企画・運営に当たった坂本実行委員長をはじめ実行
委員会の先生方の熱心な取り組みにより無事、開催することができました。
ここに心よりお礼を申し上げ、ご挨拶といたします。



社会福祉法人
日本視覚障害者団体連合

会長
竹下 義樹

大谷翔平選手がアメリカ大リーグで活躍し、毎日のように大きなニュース
となっています。大谷選手をはじめアメリカに渡った野球選手や国内の
プロ野球で活躍している選手たちのほとんどは、高校時代に野球の基礎
を作り上げ甲子園を目指した人たちです。プロ野球を目指す選手たちの
基礎が高校時代にできあがるのと同じように、職業の分野においても
盲学校や専門学校の時点でどれだけの基礎を身に着けているかが重要
です。その点で、2022年からスタートした全国あん摩マッサージ指圧コン
テストの中で学生の部を設けたことは、大きな意味を持っていました。
そして、昨年は学生の分野に特化し、「あん摩甲子園」としてあん摩
マッサージ指圧師を目指す学生たちの目標となるコンテストを今年も
行うことにしました。学生の皆さんがコンテストへの参加によって、自らの
技量とコミュニケーション力を鍛え、将来に向かってあん摩マッサージ
指圧師として、高いモチベーションを持ち続けることを期待しています。

開催要項（抄）

01.大会名称

第2回 あん摩マッサージ指圧甲子園

02.目 的

施術者のプロフェッショナルリズムの醸成と日本の伝統手技の継承発展を図るとともに、あん摩マッサージ指圧教育の一層の向上に寄与することを目的とする。

03.主 催（共同開催）

一般財団法人 一枝のゆめ財団
社会福祉法人 日本視覚障害者団体連合

04.開催日時

令和 7年 8月 24日（日）

05.開催場所

大宮呉竹医療専門学校
（埼玉県さいたま市大宮区桜木町1－185－1 ）

06.コンテストの種目と要領

- 1) あん摩、マッサージ指圧施術の基礎的技術に関する競技とする。
- 2) 別に定める競技要領に基づき実施する。

07.応募資格

日本のあん摩マッサージ指圧師養成課程に在籍する者

08.コンテストの審査

別に定める審査要領に基づき、実行委員会が指名した者が審査するものとする。

09.審査・表彰

審査委員会が一定の審査基準を満たしたと認めた者を、表彰するものとする。なお、表彰の内容は、表彰楯等の授与とする。一定の審査基準を満たした者の中で、際だって優秀な者に対して別に定める賞を授与するものとする。また、副賞を授与する。

出場選手

学生部門			
1	井口 光世	栃木県立盲学校	（栃木県）
2	池田 恵美	東京呉竹医療専門学校	（東京都）
3	石井 千月呼	大阪府立大阪南視覚支援学校	（大阪府）
4	石川 奈美子	東海医療学園専門学校	（静岡県）
5	石黒 祐樹	国立障害者リハビリテーションセンター	（埼玉県）
6	小川 結花	岩手県立盛岡視覚支援学校	（岩手県）
7	大久保 賢二	筑波技術大学	（茨城県）
8	小野寺 菜月	宮城県立視覚支援学校	（宮城県）
9	鎌倉 采花	四国医療専門学校	（香川県）
10	川本 陽菜	筑波技術大学	（茨城県）
11	栗原 大青	東海医療学園専門学校	（静岡県）
12	小林 倫大	福井県立盲学校	（福井県）
13	古茂田 誠司	国立障害者リハビリテーションセンター	（埼玉県）
14	柴崎 美優樹	筑波大学附属視覚特別支援学校	（東京都）
15	末久 みのり	香川県立視覚支援学校	（香川県）
16	鈴木 佳名子	大阪府立大阪南視覚支援学校	（大阪府）
17	鈴木 優太	大宮呉竹医療専門学校	（埼玉県）
18	徳正 貴子	東京呉竹医療専門学校	（東京都）
19	飛田 真太朗	筑波技術大学	（茨城県）
20	長江 遼	国際鍼灸専門学校	（東京都）
21	西嶋 輝	日本指圧専門学校	（東京都）
22	濱田 光	沖縄県立沖縄盲学校	（沖縄県）
23	林 良憲	静岡県立浜松視覚特別支援学校 沼津分室	（静岡県）
24	松林 隼人	国際鍼灸専門学校	（東京都）
25	三浦 暁治	国立障害者リハビリテーションセンター 自立支援局 函館視力障害センター	（北海道）
26	三藤 ゆり	大宮呉竹医療専門学校	（埼玉県）
27	森 一路	大宮呉竹医療専門学校	（埼玉県）
28	森山 光太	広島県立広島中央特別支援学校	（広島県）
29	吉田 藍美	四国医療専門学校	（香川県）
30	渡邊 卓也	横浜市立盲特別支援学校	（神奈川県）

以上、30名（敬称略、アイウエオ順）

スケジュール・会場

時 刻	スケジュール	会 場
09:00-	受付開始	1 階 エントランスホール
09:45-10:15 10:15-10:30	開会式 競技説明	10階 式典会場(1003・1004教室)
10:45-12:15	午前の部の審査	審査会場 1 (9階 903・904教室) 審査会場 2 (10階 1001・1002教室)
12:15-13:00	昼食・休憩	選手控室(902教室)
13:00-14:30	午後の部の審査	審査会場 1 (9階 903・904教室) 審査会場 2 (10階 1001・1002教室)
14:00-16:00	実技交流	実技交流会場(10階1005教室)
16:15-17:00	表彰式・閉会式	10階 式典会場(1003・1004教室)
17:30-19:30	懇親会	

主 催

一般財団法人 一枝のゆめ財団
社会福祉法人 日本視覚障害者団体連合

後 援

厚生労働省
公益財団法人東洋療法研修試験財団
公益社団法人東洋療法学校協会
全国盲学校長会
日本理療科教員連盟

公益社団法人全日本鍼灸マッサージ師会
公益社団法人全国病院理学療法協会
公益社団法人日本あん摩マッサージ指圧師会
一般社団法人日本東洋医学系物理療法学会
株式会社毎日新聞社点字毎日

特別協賛

株式会社フレアス
セイリン株式会社

協 賛

株式会社i-care(アイケア)
株式会社あおばHD
株式会社アミ
株式会社HSコーポレーション
株式会社F.C.C.
株式会社MSG
株式会社OHIZUMI
株式会社介護NEXT
株式会社くまのみ
株式会社クラシオン(ケイズグループ)
株式会社KKD
株式会社セリアジョブ
株式会社爽健グローバル

株式会社mitsuki
株式会社メディカルアーツ
株式会社B&Sコーポレーション
公益財団法人 東洋療法研修試験財団
公益財団法人 全日本鍼灸マッサージ師会
公益社団法人 全国病院理学療法協会
公益社団法人 東洋療法学校協会
一般社団法人 日本東洋医学系物理療法学会
日本理療科教員連盟
一般社団法人 全国鍼灸マッサージ協会
公益社団法人 埼玉県鍼灸マッサージ師会
一般社団法人 栃木県鍼灸マッサージ師会
一般社団法人 長野県はり灸マッサージ師会

企業展示

株式会社フレアス
セイリン株式会社
株式会社mitsuki
株式会社B&Sコーポレーション



フレアス 在宅マッサージ



全国429拠点展開中！※訪問鍼灸マッサージで働いたら「研修に強いフレアス」

在宅未経験
でも大歓迎！

研修制度に力を入れており
新卒・中途の方でも
活躍できる職場

祝日特別 休暇
インセンティブ

制度スタート
年間休日120日！頑張った分、
毎月お給与として還元あり

OJT研修
3ヵ月

※場合により
変動あり
臨床経験豊富な先輩が
独り立ち出来るよう
サポート支援

自主学習
システム

マッサージ・鍼灸、機能訓練等
約600本の動画が
いつでも視聴可能

フレアスなら
働き方様々

正社員・パート・委託など
働き方は様々！週1日
1時間から相談可能

充実の福利厚生

社会保険完備・賠償責任保険加入（会社負担）、交通費・ユニフォーム支給、退職金制度（勤続5年以上で適用）、従業員持株会・確定拠出年金制度（401K）、永年勤続表彰、慶忌見舞金、福利厚生サービス「リロクラブ」導入

株式会社 フレアス 人材開発部

〒151-0061 東京都渋谷区初台2丁目5番8号 西新宿豊国ビル2階

0120-938-841

求人に関する問合せは LINE から
気軽に行えます！ QRからお友だち追加 ▶



あなたに「ぴったり」鍼灸院検索・予約サイト

健康にはり
with はりのマイカルテ



地域

ジャンル

価格

特徴

キーワード

口コミ数

おススメ



掲載院は
16,000院以上

豊富な写真と
リアルな口コミ

70を超える鍼灸師監修の
『はりコラム』

はりコラム



健康にはり
with はりのマイカルテ



健康にはり

一般財団法人 一枝のゆめ財団

鍼灸マッサージ療法（三療）の発展と、
この業に従事するすべての人々の幸福を追求し、
地域医療の充実と国民衛生の向上に寄与することが基本理念です。

財団の5つ基本ミッション

01 || 高い資質を備えた鍼灸マッサージ師の育成に努めます。

02 || 三療の魅力と価値を社会に発信し若者に夢を与えます。

03 || 視覚に障害のある業者の就労・経営を支援します。

04 || 地域で暮らす人々や労働者の健康づくりを支援します。

05 || ミッションを推進する活動拠点の建設を目指します。

「一枝（ひとえだ）のゆめ財団」の名称は、聖武天皇が大仏の造営にあたり
「一枝の草、一（ひと）すくい土でも」と寄進を呼びかけた故事にちなんだ
ものです。鍼灸マッサージ療法（三療）に携わる人、志す人、一人ひとりの
“ゆめ”が大樹に育つプロセスを応援する財団です。

一般財団法人
一枝のゆめ財団
Piece of Dream

一般財団法人 一枝のゆめ財団

〒115-0045 東京都北区赤羽1丁目45-5 クロスポイント赤羽1階
TEL／FAX 03-6310-5172

企画運営 第2回あん摩マッサージ指圧甲子園2025実行委員会

	No.	企業・団体名	協賛金	備 考
関 係 団 体	1	東洋療法研修試験財団	30,000	
	2	全日本鍼灸マッサージ師会	30,000	
	3	全国病院理学療法協会	30,000	
	4	東洋療法学校協会	30,000	
	5	日本東洋医学系物理療法学会	30,000	
	6	日本理療科教員連盟	30,000	
	7	全国鍼灸マッサージ協会	30,000	
	8	埼玉県鍼灸マッサージ師会	30,000	
	9	長野県鍼灸マッサージ師会	30,000	
	10	栃木県鍼灸マッサージ師会	30,000	
民 間 企 業	11	フレアス	300,000	
	12	セイリン	300,000	
	13	KKD	100,000	
	14	セリアジョブ	100,000	
	15	F.C.C	100,000	
	16	くまのみ	100,000	
	17	クラシオン	100,000	
	18	介護NEXT	100,000	
	19	アミ	100,000	
	20	メディカルアーツ	50,000	
	21	HSコーポレーション	50,000	
	22	爽健グローバル	50,000	
	23	OHIZUMI	50,000	
	24	アイケア	50,000	
	25	MSG	50,000	
	26	あおばHD(ホールディングス)	50,000	
	27	B&Sコーポレーション	50,000	出店料20,000円を含む
	28	MIZUKI	30,000	
合 計			2,030,000	

[illegible]

選手・引率者アンケート結果

今後に向けて要望やご意見がございましたらご記入ください

[illegible]

なし

[illegible]

ない	
時間も円滑に行えてたと思います。特にありません。	

審査員との相性や好みがあるのかなと思います。4位~6位がアツアツ賞ですか？

なし。

一部の入会で治療が受け当てる場所があったので、患者役の先生が驚かされてしまいました。配置を多少考慮していただけたらと思います。

そのとおりだと思います。でも「スベス」と企業アソシエーションに属する意味で同一部屋にしたのはいいと思いますが、少々混み合ってしまったように感じます。

働いてお金をありがたうと思いました。大変な時に、今後は母親を働かせる方向にしようとしたので、改めて感じました。働き役になり、自分が主の立場に立つことが、主の立場に立つことになり、更に知恵や技術の伝わりが、その主の立場に立つことになりました。

交流会の会場が狭かった。ハットが足りない、もっと多くの学生の指輪をうたり振したりの時間が欲しかった。

「選手交流が促かった。選手やスタッフのコメントも載せていただけると、読み返しができて便利。」

大会役員

役 職 名	氏 名	所 属	
大 会 長	矢野 忠	一枝のゆめ財団理事長	明治国際医療大学名誉学長
副大会長	竹下義樹	一枝のゆめ財団理事	日本視覚障害者団体連合会長
副大会長	齊藤秀樹	学校法人呉竹学園理事	大宮呉竹医療専門学校校長
実行委員長	坂本 一	一枝のゆめ財団理事	有限会社陽光代表取締役社長
相談役	坂井友実	一枝のゆめ財団理事	東京有明医療大学教授
相談役	藤井亮輔	一枝のゆめ財団理事	筑波技術大学名誉教授

実行委員会・専門委員会・その他の業務担当

	役 職	氏 名	所 属
実行委員会	委 員 長	坂本 一	一枝のゆめ財団理事（有限会社陽光代表取締役社長）
	副委員長	逢坂 忠	日本視覚障害者団体連合事業部長
	〃	太田一郎	東海医療学園総合臨床センター長
	委 員	狩野裕治	全日本鍼灸マッサージ師会理事・副会長
	〃	黒澤光伸	株式会社セリアジョブ
	〃	近藤 宏	一枝のゆめ財団評議員（筑波技術大学准教授）
	〃	菅原寿彦	一枝のゆめ財団評議員（埼玉県立視覚特別支援学校塙保己一学園教諭）
	〃	神 里子	株式会社フレアス
	〃	田中文枝	大宮呉竹医療専門学校教員
	〃	前田智洋	日本理療科教員連盟理事（筑波大学附属視覚特別支援学校教諭）
	〃	藤井亮輔	一枝のゆめ財団理事
	事務局	安田英俊	一枝のゆめ財団理事
	〃	権田良則	大宮呉竹医療専門学校事務長（大会事務業務業務受託者）
財務委員会	委員長	藤井亮輔	一枝のゆめ財団理事
	委 員	逢坂 忠	日本視覚障害者団体連合事業部長
	〃	黒澤光伸	株式会社セリアジョブ
	〃	齊藤秀樹	大宮呉竹医療専門学校校長
	〃	坂本 一	一枝のゆめ財団理事
	事務局	権田良則	大宮呉竹医療専門学校事務長（大会事務業務受託者）

審査委員会	委員長	太田一郎	再掲
	委 員	坂本辰徳	大宮呉竹医療専門学校教員
	〃	神 里子	再掲
	〃	菅原寿彦	再掲
	〃	前田智洋	再掲
広報委員会	〃	山岸克也	埼玉県鍼灸マッサージ師会会長
	委員長	近藤 宏	再掲
	委 員	逢坂 忠	再掲
	〃	狩野裕治	再掲
	〃	川畑充伸	大宮呉竹医療専門学校教員
事務局	〃	黒澤光伸	再掲
	〃	平井顯徳	大宮呉竹医療専門学校教員
	事務局長	安田英俊	再掲
	事務局員	佐々木明美	一枝のゆめ財団事務員
	〃	須田 雪	一枝のゆめ財団事務員
その他の業務担当	〃	相田典子	大宮呉竹医療専門学校教員
	〃	足立昌彦	大宮呉竹医療専門学校教員
	会場・式典	相田典子	再掲
		足立昌彦	再掲
		稲葉千里	大宮呉竹医療専門学校教員
	賞状・記念品	近藤 宏	再掲
		太田一郎	再掲
		佐々木明美	再掲
		田中文枝	再掲
	受 付	安田英俊	再掲
		佐々木明美	再掲
		須田 雪	再掲
		佐藤麻未	大宮呉竹医療専門学校教員
	誘導・案内	田中文枝	再掲
		菅原寿彦	再掲
	昼 食	藤沢由美子	一枝のゆめ財団
	集 計	神 里子	再掲
		前田智洋	再掲
		武井良之	大宮呉竹医療専門学校教員
	懇親会	坂本 一	再掲
		平井顯徳	再掲
		坂本辰徳	再掲

